

事業紹介・事業報告

JICE技術研究発表会

情報調査室

1. 概要

技術研究発表会は、JICEの幅広い活動状況と先進的研究内容を関係機関の方々およびJICEOBに紹介する目的として開催しており、平成14年度で第16回を迎えました。第16回技術研究発表会は平成14年7月12日に虎ノ門パストラルにおいて開催し、月尾嘉男先生（総務省総務審議官）による特別講演、各部室課題発表（14課題）を行いました。

2. プログラム

- (1) 特別講演「これからの日本の100年の転換」
- (2) JICEの概要および展開
- (3) 発表課題
 - ①「歩いて暮らせる街づくり」事業推進調査
 - ②社会資本マネジメントにおける行政とNPOとの連携
 - ③高齢者保有不動産の市街地整備への活用方策に関する研究
 - ④市町村における実践 バリアフリーの地域社会づくりに関する研究
 - ⑤定期—設計変更協議・部分払方式実施に関する調査
 - ⑥マネジメント技術活用方式試行評価
 - ⑦カーボンファイバーを利用した諸構造物の普及に向けた検討
 - ⑧高速バス運行情報の提供と道路管理への適用
 - ⑨道路データ利用基盤に関する検証
 - ⑩北陸沿岸広域海岸調査の今後のあり方について
 - ⑪健全な水循環系構築のための計画づくりについて（九州大学移転を事例として）
 - ⑫木曾川の水制周辺環境の形成過程に関する研究について
 - ⑬今後の道路維持管理の新たな取り組み
 - ⑭自転車走行空間の安全性について

3. 特別講演の内容

JICE各部室からの課題発表に先立ち、総務省総務審議官の月尾嘉男先生より「これからの日本の100年の転換」と題して特別講演がありました。非常に興味深い内容であり、我が国の社会資本整備、国土マネジメントの調査研究の一端を担っているJICEの今後の事業展開に大いに参考となる示唆に富んだ有意義なご講演内容でしたので、ここにその概要を紹介いたします。

世界的な技術革命を歴史的に振り返ると、現在は、数百年前の産業革命に匹敵する情報革命の時代であり大きな転換期である。デジタル技術により情報の形態（音声、文字等）と伝達的手段（電話、電信等）の混合がなされ、かつ移動通信技術の発展により固定と移動の混合の時代となってきている。また、インターネットの隆盛により通信から放送まで対応できる変幻自在の通信手段が実現している（一人対一人～複数対複数人）。

これらの情報革命により、産業革命により出現した大量生産、大量消費、大量廃棄を前提とした既存の経済社会システムは変化しようとしており、これまでとは逆の価値を創出する経済社会システムを実現させることが可能となった。国土基盤技術においても例外ではなく、IT技術を駆使した新規建設から蓄積維持へ、供給重視から需要重視へなどの移行が重要となってきている。

